



2026  
2月

板橋区立西台中学校

2026.2.27発行

校長 内田 善人



# 西台中だより

## 2月9日(月) 校長講話『意思を示そう』

### みんなが誇れる西台中に

年度末ということで、校長としては自身の学校経営を振り返るために皆さんにFormsで以下のような質問をしました。

#### 「西台中学校に入学してよかったと思いますか。」

学校満足度を測る指標として肯定的回答がほとんどであったことはとても嬉しい限りです。学年を問わず「毎日が楽しい。」「学校生活が面白い。」という声が多く、回答の根底にありました。満足度を支える3本の柱は「良好な人間関係」「自由で自律的な校風」「充実した施設と環境」と言ったところでしょうか。

Formsのコメントを紹介します。

- ・ クラスの人たちや先生方がすごく優しくしてくれますし、相談相手にもなってくれるので、西台中に来てよかったなと思いました。
- ・ 授業の内容が全体的にどの先生もとてもよく、部活もとても楽しく居心地が良いからです。
- ・ はあとルーム、ほっとルームなど事情があって教室に行けない人への配慮が小学校の時よりあったから。
- ・ 校舎が綺麗 進路指導が手厚い。
- ・ 自分たちで考えて実行できる学校だから。卒業したくない。
- ・ みんなが行事に積極的で、校則によって自分で考えて行動する力がついた。

一方で「あまりよくなかった」と答えた人からはこんなコメントがあります。

#### 「問題行動を起こす人がいる。」「治安があまりよくない。」「きまりを破る人が多くて意味をなしていない。」

ある人の「自由」が他の人の「不安」の種になっているのなら、それは本当によい学校ではありません。全員がここに来て「よかった」と思える西台中を、みんなの力でつくっていきましょう。

ここで、生徒会本部が設置している目安箱に入っていた意見を紹介します。

- ・ 西台中をより良くするためには、校庭や体育館の使用方法をもう一度確認するとよいと思います。理由は、自分たちはルールを守っているのに他の人たちのせいで禁止になっているのはおかしいからです。
- ・ 朝礼や集会など今まで「推奨」だったのを「必ず」にして制服を着る機会を増やす。着ることに慣れる。

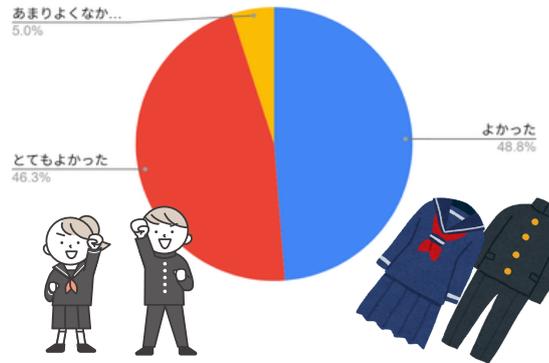
学校生活をよりよいものにしていくためには、「どうすればよくなるのか」を自分で考え、その考えを行動として示していくことが大切です。誰かに言われたから従うのではなく、正しく理解し、自分で判断した上で動く姿勢が、学校全体の力を高めていきます。

目安箱に寄せられた意見には、服装や生活のきまりについて、よく考えられた内容が多く見られました。ここに挙げた2つの意見の他にも様々な意見があると思います。賛成にせよ反対にせよ、自らの意思を示し、「選」んでください。そしてみんなで決めたことをみんなで尊重しましょう。

ところで、私自身も「どうすれば西台中を、更によい学校にできるか、具体的に考えて、実現に向けた行動をしている。」のです。右の絵図は次年度に向けての計画発表を受けて、生徒の受け取りをAIに分析させて表したものです。さて、どんな内容なのか、詳細は裏面をご覧ください。

CONTINUE

「西台中学校に入学してよかったと思いますか。」



「テストの持ち方の変更について、説明を聞いてどうとらえましたか」回答集計↓

